

1.ドルマンスリーブTシャツ

<作品の説明>

前身頃と後身頃だけでつくる、ドルマンスリーブのTシャツです。
袖付けがない分、簡単に短時間で仕上げられます。

<習得できるロックミシンのテクニック>

バルキー押えとウーリースピントープの使い方
衿のリブ付けの仕方
袖口・裾のリブ付けの仕方

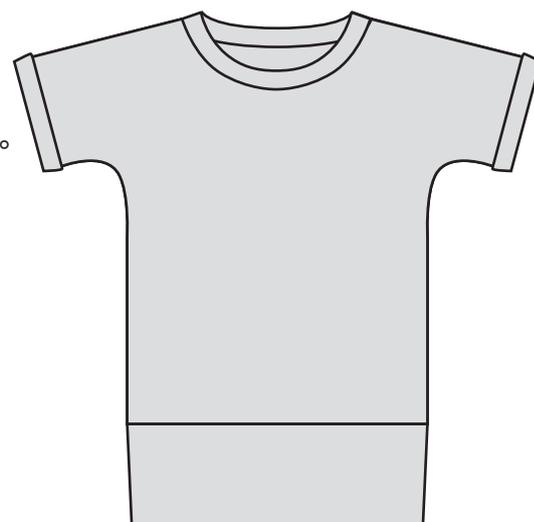
<使用するミシン>

2本針4本糸の糸取物語シリーズ・衣縫人シリーズ

※ロックミシンだけで縫製できますが、袖口、裾をカバーステッチで処理する場合は、「ふらっとろっく」が必要です。(縫工房をお持ちの方は1台で縫製可能です)

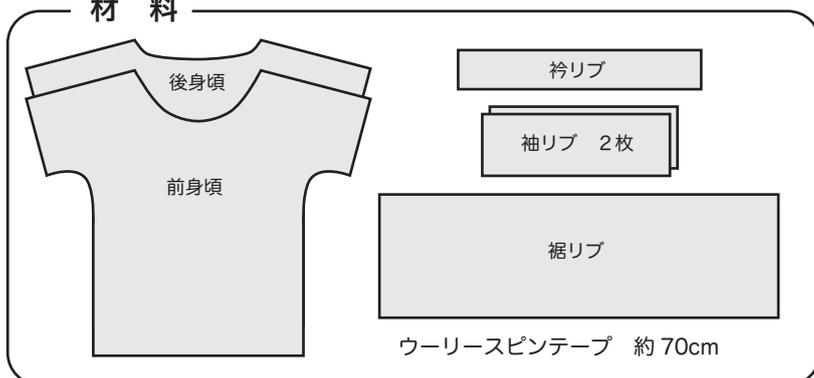
<使うアクセサリ(押え金等)や洋裁道具>

バルキー押え

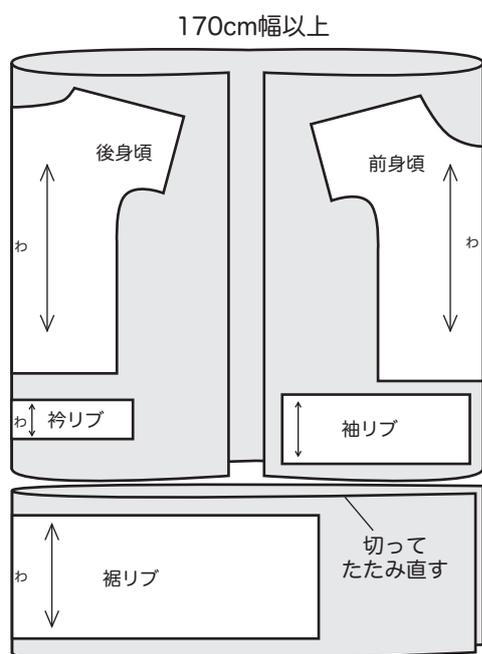


出来上がりサイズ：バスト 102cm
着丈 68cm

材 料

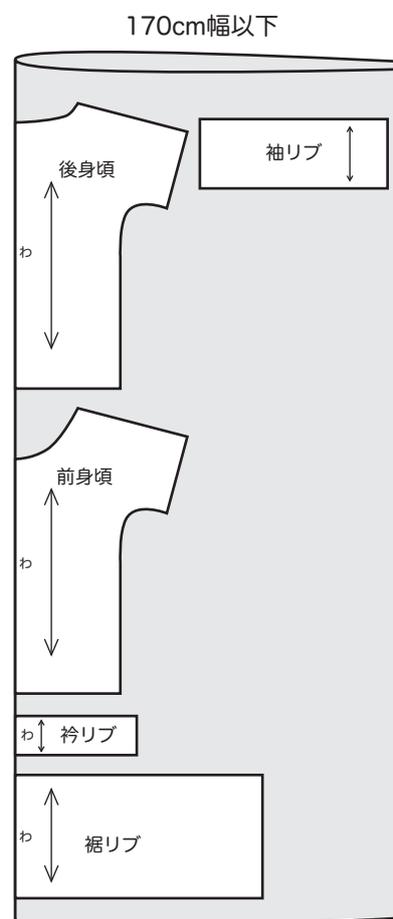


用尺：ニット生地 170cm幅以上 1.1m
170cm幅未満 1.7m

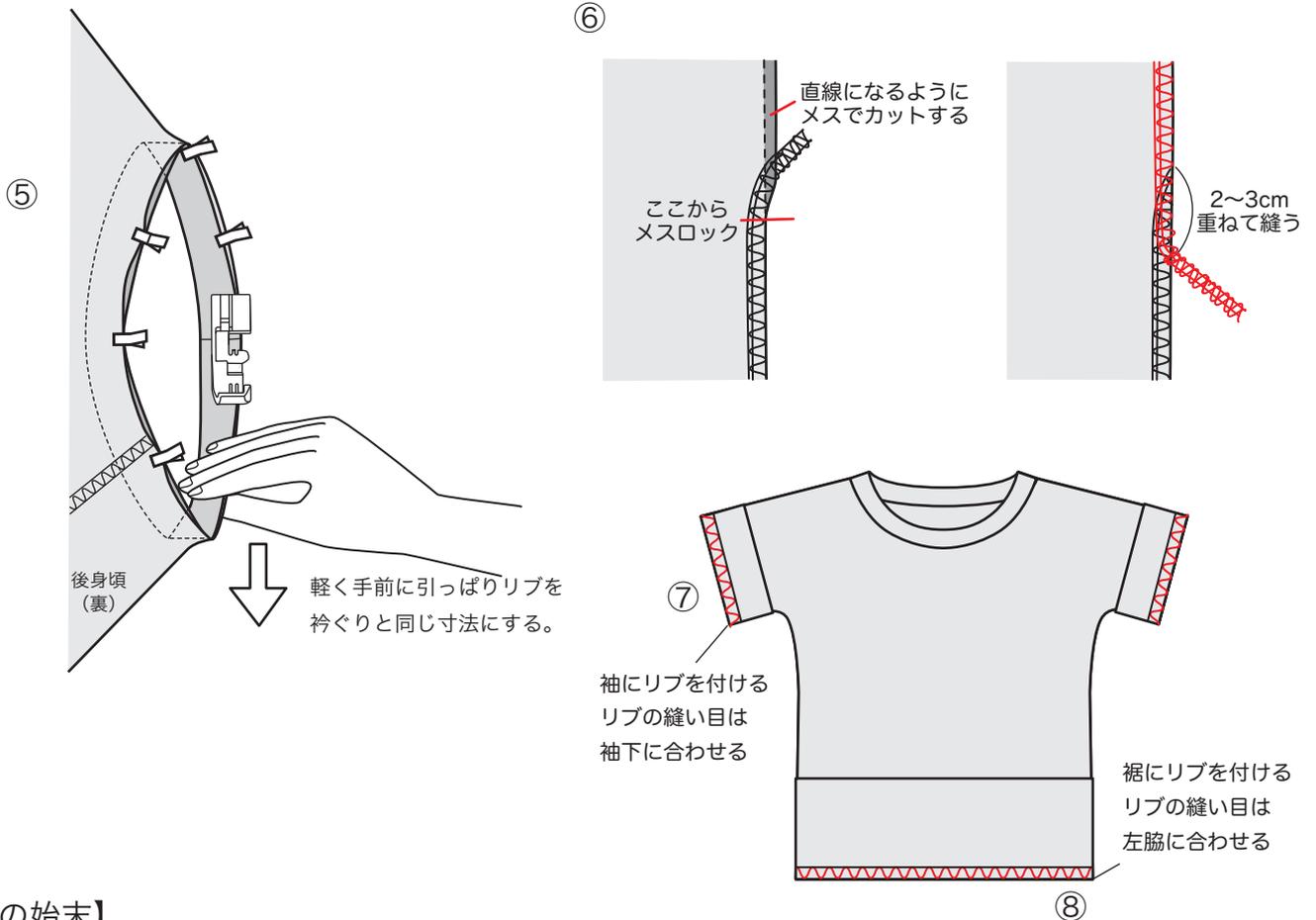


裁断図

♀はノッチ(合印)のマークです。
忘れずに印をつけましょう。

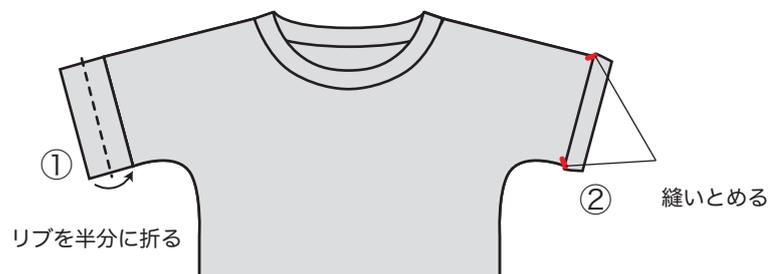


- ⑤差動を【1.3または1.5】にし、リブを上にしてリブの縫い目の2cm奥から斜めに生地を入れて縫い始め、
 衿リブを少し伸ばして衿ぐりの長さに合わせながら1周縫います。
 ⑥縫い終わりは縫い始めの空環をカットしたらメスをロックして縫い目を2~3cmねて縫います。押えの
 先を少し上げ、生地を左に90度よけます。空環を作り、糸を切ります。
 ⑦裾リブも同じように縫います。
 ⑧袖リブは差動を戻して縫います。



【リブの始末】

- ①袖リブを表側に半分に折る。
- ②上下を身頃に縫いとめる。



<アレンジ例>

- ・型紙に付いている「袖リブ 折り返しなし」を縫い付けると袖ぐりを折らないシンプルな仕上がりになります。
- ・前身頃と後身頃の袖口と裾の内周線から縫い代を2~2.5cm付けてカットし、ニット用裾まつり押えやカバーステッチや直線ミシンで仕上げる。または縫い代を5cm付けて屏風たたみ縫いにする。
- ・裾を伸ばしワンピースにする。